

11月 定例教育委員会会議録

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 日 時 | 令和2年11月26日(木) 午後5時30分から午後6時30分まで |
| 2 | 会 場 | 磐田市役所 西庁舎3階 特別会議室 |
| 3 | 出席者 | 村松啓至教育長
杉本憲司委員、青島美子委員、秋元富敏委員、鈴木好美委員 |
| 4 | 出席職員 | 市川 暁教育部長、神谷愛三郎教育総務課長、川倉彰裕学府一体校推進室長、
木野吉文学校給食課長、吉村康宏学校教育課長、鈴木都実世中央図書館長、
伊東直久文化財課長、磯部公明地域づくり応援課長、川島光司幼稚園保育園課長
太田雄介ひと・ほんの庭 にこっと館長、内野恭宏放課後児童支援室長
傍 聴 人 0人 |

(進行委員：鈴木好美委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

○皆さんこんばんは。定例教育委員会にお集まりいただきありがとうございます。新型コロナウイルスの感染が拡大してきました。静岡県でも多い日には60人を超えることがありました。以前は1人か2人の日が多かったため衝撃的な出来事で、大変重く受け止めています。今以上に感染予防を心がけていかなくてはいけないと思います。ある本に「免疫は祭りで作られる。日本の伝統文化、行事にこそウイルスに打ち勝つヒントがあった」と、高橋淳教授が書かれています。人間の歴史はウイルスとの戦いだとも言われていますが、集団免疫ができることの大切さを示しているのではないかと思います。インフルエンザの流行が例年の400分の1という話を聞きました。新型コロナウイルスの流行により、オーストラリアも明らかにインフルエンザが少なくなっているということです。新型コロナウイルスについては分からないことが数多くありますが、安心して活発な活動ができるように早くなってほしいと心から思います。

学校現場では、児童、生徒の家族の方が新型コロナウイルスに感染し、子どもが濃厚接触者となることがありましたが全て陰性でした。このような状況が、しばらく続いていくことが予想されますので引き続き、学校や外部機関と連携を密にして、対応していきたいと考えています。

学校現場で課題となるところは、新しい生活様式です。感染予防のために、三密を避けるなどで、行動が制限されています。学校訪問では、子どもたちの学習している場面を見ていただきましたが、対話活動、グループ活動などが制限されていることが見受けられたと思います。友達と楽しく話しながら食べる給食は格別なはずですが、今はそうはいきません。リモートで仕事をしている大人たちもそうですが、子どもの世界も、人と人との関わりや繋がりが希薄になってきているのではないかと心配になります。それらのことをしっかり考え、新しい生活様式の中で、新しい心の交流を作っていくことが大切であると考えています。人間的な関わりや繋がりと心の交流を作るにはどうしたらいいのでしょうか。マスクに隠れた表情、マスクに隠れた心情、マスクに隠れた感情を受け取り、その子の内面を育てていくことではないのでしょうか。そのためには、まず、教師がそれらの感情をつかみ、子どもの思いを理解すること。次に、子どもが心情や感情を吐露できる場面を設けること、また、吐露できるようにしてあげることだと思います。今、この課題を乗り越えていくことが子どもの成長を考えると、とても大切であると思います。

鳥人幸吉の資料のコーナーを中央図書館で作っています。これには、玉野市や個人の方から多大

なるご厚意をいただき実現したものです。本当にありがとうございました。

「コロナウイルスからの人類への手紙。ビビアンリーチ」です。この手紙には「地球はつぶやきました。でもあなたは耳を貸さなかった。地球は話しました。でもあなたは聞かなかった。地球は叫びました。でもあなたは耳をふさいだ。そして、私は生まれた」コロナウイルス。と書かれています。これは自然界からの一つの大きなメッセージとしての、人類に向けた大きな意味のある手紙だと考えています。再度人類は、今のこの状況を地球からの大きなメッセージとして捉えていくことも必要なことである、と改めて思うところです。

3 前回議事録の承認

10月29日定例会

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

○新型コロナウイルスの感染者が、市内でも連続して発生しています。全国の第3波の流れが本市にも押し寄せていると想定しています。市内の学校や各施設では、引き続き基本的な感染予防対策を確実に実施していくことが大事であるという共通認識のもと、取り組みを行っています。

今週から、11月議会が始まりました。新型コロナウイルス感染症対策関連の補正予算案が上程されています。教育委員会としても市立小中学校における修学旅行等の中止等に係る経費の補助支援などを上程しています。

議会の質問ですが、11月は代表質問もあり、5人の議員から質問がありました。内容については、学府小中一体校、新型コロナウイルス感染症関連、不登校支援関連となっています。

5 議事

・議案第56号 令和3年度磐田市立幼稚園及び認定こども園の給食費について

○磐田市立学校給食条例第5条の規定により、令和3年度磐田市立幼稚園及び認定こども園の給食について定めるものです。給食費の徴収月額及び給食費については、令和2年度と同様で、3歳児は月額2,800円、徴収月数は10ヶ月、4歳、5歳児につきましては、月額2,700円、徴収月数は11か月を予定しております。3歳児と4、5歳児の徴収月額が異なる理由は、3歳児は入園当初の1か月は給食を実施しないことによるものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第56号は原案どおり承認された。

・議案第57号 令和3年度磐田市立小学校及び中学校の給食費について

○学校給食費については、磐田市学校給食条例第5条において、「市長は、学校給食費の額について、教育委員会の意見を聞いて決定する」と規定されています。令和3年度の小中学校の給食費の額については、令和2年度と同額で考えています。なお、この件につきましては、11月4日に開催しました、学校給食運営委員会において承認をいただいています。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 57 号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) 地域づくり応援課

○川北秀人氏講演会「磐田の未来のために私たちができること」ということで、講演をいただきます。磐田市でも進めている地域づくり、あるいは小規模多機能自治ということ、この先生が提唱を始め、全国で講演をされている講師です。この講演会の特徴として、訪れた自治会の人口動向などのデータを用意し分析して、10 年先の人口はこうなります、や高齢化がこれだけ進みますなど、具体的に示し、どのようにすれば地域が成り立つのかを分かりやすく説明してくれる講演会となっています。

<質疑・意見>

○令和 3 年の成人式の式典は実施しない方向でよいですか。また、問い合わせ等がありますか。

○式典は実施しない形で、「イワタハタチ」として行います。

市民の方からは賛否両論いろいろなご意見をいただいています。最近増えた問合せとして、着物レンタルのキャンセル料の関係で、成人式が中止の場合はキャンセル料を取らないが、磐田市の場合は中止ではないのでどうしたら良いかということがありました。これらの意見などについては開催の趣旨などを丁寧に説明して対応しているところです。

(2) 幼稚園保育園課

・令和 3 年度磐田市立幼稚園及び認定こども園の給食実施日数について

○令和 2 年度と同様で、3 歳児は 140 日、4、5 歳児は 150 日を予定しています。

<質疑・意見>

なし

(3) ひと・ほんの庭 にこっと

・令和 2 年度 磐田市中学生スタートアップ応援事業について

○中学生スタートアップ応援事業のメッセージは、11 月末まで、市民の皆さんにも書いていただくように募集しているところです。今年の事業対象者は約 1,600 人を見込んでいますが、現状としてそのメッセージの数は集まりつつあります。今月、各小学校を通じてこの事業のお知らせを保護者にお渡しいただくよう依頼しました。12 月に入りましたら、にこっとから対象となる世帯に関係書類を郵送します。また、商品券の引き換え手続きは 12 月からできるように準備を進めています。商品券を渡すだけでなく、皆さんからいただいた応援メッセージも子どもたちに対するエールとして届けさせていただきます。併せて、物を大切にしていきたいこと、支え合いや助け合いの心も届けられたら良いと考えています。今年も商品券を受け取った子どもたちからのメッセージを任意ではありますが、募集していきます。またの機会に皆様にお知らせしたいと考えています。

<質疑・意見>

○にこっとへ行くためのバスは今後整備されるのでしょうか。

○にこっとの近くに（仮称）磐田市文化会館の建設も行われていて、公共交通機関の件はいろいろな場面で話されていますが具体的には決まっていません。何かできる対応がないか模索している状況です。

（４）教育総務課

- ・令和２年度要保護及び準要保護児童生徒の認定者数について
- ・令和２年度特別支援教育就学奨励費の対象者数について

○要保護及び準要保護児童生徒の認定者数の状況は、令和元年度と令和２年度を比較すると 100 人増えています。これは新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、近年、特に準要保護の対象が増えている状況です。

特別支援教育就学奨励費の対象者数の状況ですが、令和元年度と令和２年度を比べると、令和２年度の方が 12 名減っています。これは就学援助費と奨励費は二重で受けることができないことが要因です。なお、制度としては就学援助費の方が手厚い支援が受けられることとなっています。

○11月5日に第2回向陽学府新たな学校づくり検討会を開催しました。特色ある教育活動、一体校の形態、建設費の3点について協議をしていただきました。特色ある教育活動については、各校長から、今取り組んでいる内容についてお話をいただきました。内容としては、そば作り、豆腐作り、お米の育成、アユやサツキマスの放流などがありました。地域の方からは、「学校が無くなっても地域との関わりを残していけるように、岩田地区にも来てほしい」という話や「一輪車のような伝統的な活動は何らかの形で残してほしい」という話もありました。この内容については、今後、学府運営協議会や学校運営協議会の中で話をしていただき、新たな学校づくりへ活かされる形になります。一体校の形態は、特に異論なく、未来型学府一体校ということで話がまとまりました。建設地は向陽中学校という提案に対する意見は特にありませんでしたが、「駐車場を確保してほしい」や「道路整備してほしい」などの要望がありました。

11月21日にながふじ学府小中一体校の建設見学会を、地区長、地域選出議員を中心に、20名程度で開催しました。工事概要の説明や現場見学を1時間程行いました。現在、校舎の外側の足場等が外れ、学校の全景が見える状態になりましたので、市のホームページに写真を掲載しています。機会がありましたらご覧ください。今後の予定ですが、2月13日の午前中に完成記念式典及び内覧会を計画しています。

<質疑・意見>

なし

（５）学校給食課

- ・令和３年度磐田市立小学校及び中学校の給食実施日数について

○小学校 183 日、中学校 180 日を上限としています。各学校では、学校運営の状況に合わせて、180 日から上限日数までを選択できるものとしています。

<質疑・意見>

なし

（６）学校教育課

- ・磐田市地域学校協働活動推進員の任命について

地域学校協働活動推進委員の任命について、中部小で 3 名、富士見小で 1 名の年度途中の任命と

なりましたので報告いたします。

<質疑・意見>

なし

(7) 中央図書館

○鳥人幸吉のコーナーを設置することとなりました。設置の経緯は委員の知り合いである、名古屋市にお住まいの方が調査研究をされていて、その方から、委員を通じて是非、磐田の方で資料を展示していただけないかという相談があったことからです。今月の広報紙に掲載されていますが、玉野市との友好都市5周年を迎えたこの年に、中央図書館にこのコーナーを設置することができたのは、喜ばしいことであり、ありがたいことだと思っています。コーナーは17タイトル30冊の資料を展示します。来週からご覧いただけたと考えていますので、是非、足を運んでいただきたいと思っています。

<質疑・意見>

なし

(8) 文化財課

<質疑・意見>

なし

7 協議事項

なし

8 その他

○来年度のジュビロ一斉観戦事業のことですが、今年の5年生は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で観戦ができませんでした。感染症の状況にもよりますが、出来る限り観戦できなかった来年度の6年生だけでも実施できるような方法をご検討いただければと思います。

○コロナ禍においても、基本的にスポーツイベントや子ども達の行事は、実施する方向で検討しています。ジュビロ磐田一斉観戦事業も十分に検討していきたいと考えています。

例えば、スタジアムの規模に応じて観客動員数が制限されていれば、その基準にあった形になるように検討を重ね、6年生だけでも一斉観戦を実施するという考え方も一つの選択肢だと思っています。担当課と検討し、事業の開催について考えていきます。

○先日、文部科学省の市町村教育委員会オンライン研修会に参加させていただきました。今回は初となるZoomでの研修会でした。例年、文科省で行われている行政説明は事前にYouTubeで視聴する形になりました。分科会は例年10名程のグループでしたが、今年は5名程度と参加者が少なく、テーマに沿った各市町村の取り組み内容を、3分程度発表するものでした。今後いろいろな場面で、このようなオンラインを活用した研修会や会議が増えていくのだと改めて感じました。

9 次回教育委員会の日程確認

・定例教育委員会

日時：令和2年12月18日（金）午後3時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

10 閉会